

学校教育目標  
自ら輝け 夢をつかめ  
～笑顔・感動 はつらつ植水～

学校だより

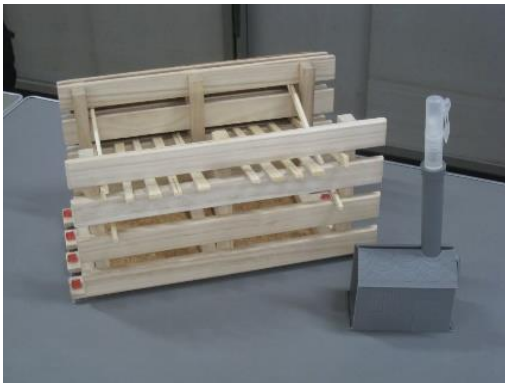
瑞 穂



令和5年度11月号  
令和5年11月1日  
さいたま市立植水中学校  
HP uemizu-j@saitama-city.ed.jp

## 生活のくふう

校長 山口 聡



稲刈りが終わった田んぼやくっきりした姿の富士山を見ると、いよいよ秋が深まってきていることを感じます。毎日少しずつ寒くなってきますので、生徒諸君はインフルエンザ感染等に留意して寒さに負けない充実した学校生活をこれからも続けて欲しいと思います。

先月、埼玉県児童生徒発明創意くふう展を見学してきました。日々の生活の中のちょっと不便だったり困ったりすることを解決する道具がたくさん展示され、毎年、様々な新しいアイデアが形となって出てくることは大変素晴らしいと思います。また、中学生の作品の中に、インターネットと接続して利用するものも展示されており、ネットワーク社会が確実に進んでいること、また、介護に関する作品も多く出品され、高齢化社会の中での快適な生活を考えることの大切さを感じることができました。

私が技術家庭科を指導していたころは「今あるものに、少し工夫を加えると便利になるものが多いので、それを見つけてみよう。猫の自動トイレや模造紙を好きな大きさに切れるケースなどを作れると便利だね。」などと作品を作る視点について話しをしていました。そのころから20年以上経ちましたが、今では猫の自動トイレは自動で掃除するだけでなく、ネットワークを通じて使用した時間や体調までスマホに知らせる機能まで付くようになりました。技術の進歩に驚かされます。

もの作りだけでなく何気ない毎日の生活習慣などを、いつもと違った視点を持って見直してみることで、新たに気づかされることが多くあります。幼児の視点・高齢者の視点・外国の人の視点・動物からの視点・植物からの視点など考えてみるとたくさんの視点がありそうです。何か変えてみたいと感じたときは、普段と違った視線から見ることを意識して試してみたいはいかがでしょうか。